

令和4年度白鷹学講座開催支援事業

服飾文化しらたかSDGs

第1回



着物リメイクしてみませんか!

生活様式の変化に伴い、昭和初期まで日本人の日常着であった着物や地場産業紬などの各家庭にあった古着が、今は不要物として捨てられています。

古布には、現代に継承されずに手に入りにくい貴重な素材や手織りものなどがあります。先人達が残した古着をリメイクで生まれ変わらせることは、「SDGs」持続可能な開発目標の達成につながり、ものを大切にする心も育てます。

たんに眠っている昔の着物を新しいデザインに生まれ変わらせる「着物リメイク」の方法をいっしょに学んでみませんか!

令和4年9月26日(月)

時間	10:00~12:00
会場	白鷹町中央公民館 ミーティングルーム
参加費	250円
持ち物	リメイクしてみたい古い 着物・古布など
定員	20名程度

*8/22日から8/31までの間に
事前予約をお願いします。

第1回 講座内容

- 講話
「白鷹町の織物と古い着物について」
講師 新野久子氏(白鷹町在住)
- リメイク作品の紹介
- リメイクの基本・準備について
ほどこき方・洗い方など

第2回(11月28日)は、リメイクの仕方を
学びます。お楽しみに!

主催 きれ衣
申込先 服飾文化講座代表 黒澤和子
TEL 090-5352-6969

作品例

小紋のバルーンスカートとリバーシブルバッグ →
← 紬のワイドパンツとロングベスト

しらたかがく 白鷹学講座レポート

【養蚕の歴史に触れるチェーンソーアート】

- ・主催団体：長命不動尊及び三階滝整備会
- ・開催日：7月16日～17日
- ・会場：山口奨学桜こもり子広場



チェーンソーアートの先駆者 栗田広行氏をお招きし、人の背丈ほどの栗の木の幹から修験者の像を制作していただきました。力強くも実に繊細な芸術作品。チェーンソーだけでここまでできるものかと驚きと感動でした。

～なぜ養蚕が関係あるの？～養蚕が盛んな蚕桑地区では、蚕の安全な成育と豊作の切実な願いが、いつしか湯殿山への登拝に込められるようになったそうです。今後、地域の歴史を語るきっかけとなるモニュメントとして、羽黒神社の途中にある三階滝に奉納する予定です。

【サカキマンゴー with 民具ライブ】

- ・主催団体：山ホド
- ・開催日：7月23日
- ・会場：文化交流センターあゆむ



「昔使われていた道具」だけでは終わらない。白鷹町の民具が、マンゴー氏の手によって、現代に輝きを解き放ったステージでした。なかでも、アフリカの民族楽器「親指ピアノ」と白鷹町の機織り機との共演は、世界初！！日常のどんな音でも音楽として表現してしまうマンゴー氏が作り出す世界は、とても幻想的で、心地よさを感じました。他にはないこの貴重なライブには、100名ほどの皆さまにご来場いただき、大盛況のステージとなりました。

【問い合わせ】教育委員会生涯学習・文化振興係 ☎ 85-6146



あゆみしる

白鷹町歴史民俗資料館

物 つ む ん
語 め ぐ なで

白鷹町大字十王
2558 番地 1
☎ 88-7160
開館日：金・土・日
時間：9時～17時

7月は企画展「民具の音をきこう」がはじまり、音楽家サカキマンゴーさんをお招きし、民具による音楽制作を行いました。鋤で土を耕す音、千歯扱きの金属部分を指ではじく音などを収録し、これらを重ね合わせていきます。鋤と鉈の音は、実際に山口地内の畑に出向いて実演していただきました。そこまでのマンゴーさんの熱意に心を打たれます。

この音楽に映像をつけてプロモーションビデオのようにして公開します。撮影は朝日町地域おこし協力隊の田岡知暁さんに依頼しました。

映像は8月19日（金）にあゆみしる館内とYouTubeで公開予定です。ぜひ館内のスクリーンでご覧ください。



写真はお膳棚を收音するマンゴーさん。撮影は田岡さん。